

誰も聞いたことがない経済の真実

講座5-4

銀の方がより重要な30の理由

目加田 明仁

1. 銀市場は金市場より遥かに小さいことと、相場を操る人達が物理的に手に出来る銀の量が少ない為、相場の戦いに勝つのが金より容易。
2. 中央銀行は相場を操るのに十分な銀を物理的に持っていない。
3. 工業用に各々、消費される銀の量は微量の為、回収出来ずに廃棄され採掘される銀の量を上回っているのに対し、金はその様なことが無いことも銀を保有する方が良い理由。
4. 銀は価格が安く、優れた性質のため、工業製品に大量に使われ近代社会には必要不可欠、銀無しでは生活が出来なくなった。これに対し金無でも生活が出来る。
5. 金融が崩壊した時、金・銀を買うのに殺到するが、普通の人には金より遥かに安い銀を買うため、価格が上がり易い。

6. 地上に現存する金と銀の推定量は6Billion Ozと殆ど同じ。金価格1,200\$/Ozに対し銀価格16\$/Ozと銀の方が価格が上昇し易い。
7. 過去、50年銀の供給量が不足していた為、1950年に政府が保有していた10Billio Ozの銀を市場に放出したため、政府は銀を殆ど所有していない。
8. アメリカ地質調査所の推定によると現在の銀の消費量では22年後に全世界の銀は永遠に存在しない。銀の消費量が更に増すと思われるので更に年数は短くなる。
9. 各用途に使用される銀の量が微量の為、銀の価格が上がっても消費は線形に減らない。
10. ニューヨーク商品取引所で取引されている銀の空売の額は歴史上、最大の額となり集中している

10. 歴史上、金と銀の価格の比率は10前後だったが、突然70倍前後と馬鹿げた数字になっている。
11. 1792年のアメリカ議会で米\$は371・4/16粒の穀物、又は400・1 /16の銀に相当すると定義。金ではないこと。
12. 銀はメディアには殆ど取り上げられていない。
13. 銀は保有するのに場所を~~ぎ~~取り過ぎる。金と銀の値段が同じになれば理由にはならない。
14. 金価格は過剰に期待・評価されている。金の価格操作が終わった場合、金と似た性質を持つ銀に注目される。
15. 米国財務省が保有していた2.75Billion Ozの銀はマンハッタン原爆計画の為、市場に放出。

16. 銀は地表近くに多く存在。殆どの銀が掘りつくされていると想定される。
18. 値段が高い金はタングステンを混ぜた偽物があるが値段が安い銀はその様なことがない。
19. 銀の市場規模は金の市場規模の極く僅か。金を保有している金持は金を売って銀に変えている為、銀を手に入れるのは困難になる。
20. 大型の平面テレビは銀を2~3 0z使用。テレビの価格低下に伴い数が出る為、使われる銀も増える。
21. 銀が不足するとの噂が世界中に出て来ている。
22. 価格が安い銀はヘッジファンドが価格操作がし易い

23. 金を没収する法律がアメリカにはあるが銀には無い。
24. 1980年の最高値と比べ金は150%価格が上昇したが、銀は最高値の35%前後。
25. 工業用途で多くの銀が証券化されているが、銀の買戻しを要求された場合、応じられない為、実物の銀の価格が上昇する。
26. 金はお金の安全な逃避先となっているが、銀がお金の逃避先となっている額が小さい為、銀の価格が上昇する余地が大きい。
27. 米商品先物取引委員会で新たな不正監視の規制が加えられた。

28. 東南アジアの生活向上により更に多くの銀の需要が出てくること。
29. 金と銀価格の不正操作のニュースが野火の様に急激に広がり出している。価格が上がる前に銀入手。
30. 米\$の基軸通貨としての終焉が近いので銀を購入することで防衛。